



平成 27 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 e n i s h
住 所 東 京 都 港 区 六 本 木 六 丁 目 10 番 1 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 安 徳 孝 平
(コード番号：3667)
問 い 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 管 理 本 部 長 高 木 和 成
TEL. 03 (6447) 4020

**業績予想の修正及び特別損失の発生、繰延税金資産の取崩し
ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ**

当社は、平成 27 年 6 月 26 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等及び、特別損失の発生、繰延税金資産の取崩しを踏まえ、平成 27 年 2 月 13 日に公表した平成 27 年 12 月期第 2 四半期個別業績予想と通期個別業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

また、あわせて役員報酬の減額実施を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 27 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 3,000	百万円 △500	百万円 △500	百万円 △500	円 銭 △72.05
今 回 修 正 予 想 (B)	2,800	△650	△650	△1,150	△165.68
増 減 額 (B - A)	△200	△150	△150	△650	
増 減 率 (%)	△6.7	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 12 月期第 2 四半期)	3,254	230	223	129	18.72

平成 27 年 12 月期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 8,500	百万円 300	百万円 300	百万円 180	円 銭 25.94
今 回 修 正 予 想 (B)	5,800	△1,050	△1,050	△1,600	△230.51
増 減 額 (B - A)	△2,700	△1,350	△1,350	△1,780	
増 減 率 (%)	△31.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	6,452	149	151	22	3.19

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間においては、既存タイトル（ブラウザアプリ）はほぼ想定範囲で推移したものの、本年5月にリニューアルを実施したネイティブアプリ「千年の巨神」の売上高が不振で期初予想を8割程度下回ったことから、売上高は前回予想を若干下回る見込みとなりました。

また利益面につきましては、新規タイトルのリリース遅延等が見込まれる中、抜本的な構造改革をすみやかに実行するため、下記明細の通り、海外拠点の整理・縮小等に伴う特別損失を見込むとともに、通期においても赤字予想としたことから、当第2四半期において繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額の計上が発生し、利益に関しても前回予想を下回る見込みとなりました。

・特別損失及び繰延税金資産の取り崩し明細

内容	金額
事業整理損（子会社である enish Thailand 及び enish china の整理・縮小）	148 百万円
関係会社株式評価損（子会社である enish Korea 及び enish ASIA の株式）	10 百万円
減損損失（サテライトオフィス閉鎖に伴う固定資産除却）	8 百万円
特別損失計	167 百万円
繰延税金資産の取崩し	303 百万円

通期見通しにつきましては、既存タイトル（ブラウザアプリ）に関しては、運営体制の強化を行い収益の向上を目指してまいります。ブラウザアプリからネイティブアプリへのユーザー移行が進む中、引き続き漸減傾向が継続するものとして想定しておりますが大きな修正はありません。一方、ネイティブアプリの「千年の巨神」の売上高を見込まないことによる減少、及び新規タイトルについては、開発遅延、並びにマーケットでの競合状況、ゲームの機能面検証をより精緻に行うとともに、収益性の観点からもプロダクトポートフォリオの見直しを行い、夏にリリースを予定していたタイトルを秋以降に投入するとともに、従来予定の6タイトルから4タイトルに絞り込んで行うものとして想定しました。この結果、通期売上高は前回予想を大幅に下回る予想と致しました。

また通期利益につきましては、売上高減少が大きいなか、当期及び来期の新規タイトルの開発コストの費用計上もあり、前回予想を下回る予想と致しました。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

【役員報酬の減額について】

このたび、平成27年12月期通期個別業績予想の修正という結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

1. 役員報酬減額の内容

代表取締役社長	役員報酬月額の50%を減給
取締役（社外取締役を除く）	役員報酬月額の50%から20%を減額

2. 対象期間

平成27年7月から当面の間

以上